

2016 年度
ミス・パリ エステティック 専門学校
名古屋校

自己評価報告

2017 年 4 月

学校法人ミスパリ学園
ミス・パリ エステティック 専門学校
名古屋校

2016年度 自己評価について

学校法人ミスパリ学園が運営するミス・パリ エステティック専門学校名古屋校は、愛知県名古屋市東区に2008年4月に開校しました。同時期に姉妹校であるミス・パリ エステティック専門学校（大阪府北区）も開校しております。

本校の前身となるミスパリエステティックスクールは、28年の歴史があり、エステティック教育においては、常に先進的な理論と技術を教授し、その授業時間も300時間、1,000時間と増やすことにより、カリキュラムを充実させてきました。

専修学校として再スタートをする際には、全国でもあまり類を見ない2年間で2,085時間という非常にハイレベルのカリキュラムを編成し、即戦力人材の育成に注力し、有為な人材を関係業界だけでなく他分野にも多数輩出してまいりました。

これからも本校の教育理念である「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を基本とし、教育内容の更なる充実を図り、日本のみならず世界で活躍できる人材育成に向け、教職員一同努力してまいります。

以下にあるとおり2016年度の自己評価の取り組み状況をご報告いたします。

自己評価の目的は、本校に関する各項目を教職員が客観的に評価することにより、改善点を見出し、更に実践的な教育プログラムを充実させることにより、学生はもとより教職員の質の向上に資するものです。

学生が卒業後も活躍できる環境の醸成に向け、今後も引き続き、企業や業界団体の皆様のご理解、ご支援を賜りたいと存じます。

1. 評価実施期間

2016年4月1日～2017年3月31日

2. 実施方法

(1)校長以下、課長、主任、教育課主任が中心となり、各教職員が連携して評価を行います。

(2)評価は「専修学校における学校評価ガイドライン」を参考にしています。

- (3)評価は、年度終了後速やかに行い、年1回行うこととします。
(4)評価結果は、学校関係者評価委員に報告するとともに、現状と今後の改善、解決に向けた取り組み等を公表することとします。

3. 自己評価の項目

- (1)教育理念・目標 (2)学校運営 (3)教育活動 (4)学修成果
(5)学生支援 (6)教育環境 (7)学生の受入募集 (8)財務
(9)法令等の遵守 (10)社会貢献・地域貢献

4. 評価項目に対する評価 (5段階とする)

- 5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

以上

2016年度 ミス・パリ エステティック専門学校 自己評価表

1. 学校の教育目標

本校の教育理念「美しく聡明で品格あるプロフェッショナルの育成」を念頭に、学校法人ミスパリ学園としての自覚と自負の下、「充実した教育課程」「学生獲得」「就職確保」の3本柱を全教職員の力で全うし、わが国トップクラスのトータルビューティの専門学校を目指す。

2. 本年度に定めていた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1) 教育の質の向上、魅力的で楽しく、充実した内容の授業を行う。講師の評価制度を確立する。
- 2) 募集定員の確実な達成を図る。
- 3) 学生の遅刻・欠席をなくし、進級率 90%・就職率 100%を達成する。
- 4) 学生の体力、人間力の向上を図る。
- 5) 働くことの意義を理解し、社会で活躍できる人づくりを行う。
- 6) 即戦力になる人づくりを行う。
- 7) 学園（ミスパリ 5校）の協力により、相乗効果を上げる取り組みを行う。

3. 自己評価

5：良好 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価	前年
1	学校のビジョン及びそれを実現するための方針を策定しており、かつ、教職員に理解されているか。	4	4
2	特色ある学校づくりを進めるために、求められる仕事及び求められる人間性を明確にし、学校独自のカラーを出しているか。	5	4
3	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが、学生や保護者等に周知されているか。	4	4
4	目標に対する評価を年度内に実施し、その結果を教職員に周知するとともに、次年度の目標につなげているか。	4	4

5	教育目標、育成人材は学科等に対する社会のニーズに向けて方向付けられているか。	4	5
---	--	---	---

課題及び来年度の改善策

(課題)学校教育・運営全般において教職員全体への周知。

- ・学校教育・運営全般において、外部機関による審査を受けた結果を、教職員全体への周知のため、目につきやすい場所への掲示など閲覧方法を改善する。また、講師研修を活用し定期的な読み合わせを行う。

(2) 学校運営

	評価項目	評価	前年
1	事業計画等に沿った運営方針が策定されているか	4	4
2	学校運営などに学生の意見が反映されているか	4	3
3	地域社会への貢献の一環として、学校施設を地元開放しているか	3	3
4	地域との協力関係が確立されているか	3	3
5	運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されていて、有効に機能しているか	4	4
6	人事・給与等に関する規程等は整備されているか	4	4
7	教務・財務等の組織整備など意志決定システムは整備されているか	4	4
8	教職員の健康診断を実施しているか	4	5
9	各種システム化等により業務の効率化が図られているか	3	3
10	ホームページは、適宜更新し、見やすくしているか	4	5
11	学校評価を組織的に実施し、評価結果を教職員に周知するとともに、改善計画を策定しているか	4	4
12	学校運営及び評価の結果を学校関係者以外に、何らかの方法で公表しているか	4	4

課題及び来年度の改善策

(課題) 業務の効率化、地域との協力関係、教職員の健康診断の徹底を図る。

- ・地域社会への貢献として学内サロンを地域の方にもご参加いただけるよう開放している。地域に向けての広報活動をさらに高めるように学生からの意見をもらうなどの改善を行っていく。
- ・ボランティア活動を推奨し毎年実施できるよう方法を検討する。
- ・各教職員の仕事内容を明確にし、役割分担をすることで業務の効率化を図る。
- ・講師の健康診断は授業の無い夏休み期間内での実施・報告を徹底する。

(3) 教育活動

	評価項目	評価	前年
1	教育課程は、教育理念・教育目標と一貫性がある内容になっているか	4	5
2	定期的に教育課程の評価を組織的に行い、時代の要請、変化にあったものに修正しているか	4	4
3	シラバス（授業計画書）は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致しているか	4	4
4	効果的な授業運営を図るため、適切に時間割を調整しているか	4	4
5	授業内容や指導方法が学生レベルに合うよう工夫・改善しているか	4	4
6	学生に修了認定のための評価基準と方法を公表しており、かつ、評価は公平性・妥当性が保たれているか	4	4
7	評価結果による教員面接・指導が行われているか	4	4
8	未修了科目の原因分析を教員側と学生側とで実施し、対応策を講じているか	4	4
9	資格対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど、教職員一丸となって取り組んでいるか	4	4
10	人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	4

11	教職員のスキルアップのための研修を行っているか	4	4
12	研修や出張で学会等に参加した成果を他の教職員に還元する仕組みがあるか	4	4
13	教職員の授業を他の教職員、または外部関係者が参観、講評できる制度があるか	3	3
14	教職員による自己評価が定期的に行われているか	4	4
15	インターンシップ等を利用して、職業選択について深く考える契機を提供出来ているか	4	4
16	関連分野の企業・関係施設や業界団体等との連携によりカリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4	5
<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 授業参観・模擬授業の実施と結果報告を全職員へ周知、シラバスに対する考え方の共通認識を持つ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者様・業者様に対しての授業参観を実施したが、高い評価を得たデータ等の共有が全教員にできていないため、授業評価に関するフィードバックを徹底し、より良い授業を行える事が出来るように各教員の更なる質の向上を図る。 ・教育課程編成委員会の位置づけを全職員へ周知し、学年ごとのミーティングにて、カリキュラムの見直し、改善を行う。 			

(4) 学修成果

	評価項目	評価	前年
1	学生の就職に関する目標を設定したか。またその成果は十分か	4	5
2	学生の資格取得目標を設定し、その結果検証をおこなっているか	4	4
3	中途退学者を少なくする工夫・努力をしているか	4	5

4	卒業生の就職先での評価を把握し、問題点を明確にしているとともに、その改善策を講じているか	4	4
<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 就職内定が早期化することによる就職に対するモチベーションを維持する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在学中に働く事への楽しさや興味を持たせるとともに、就職への意識を高め、インターンシップなどで実際のサロンを知ってもらうなど、就職に向けた学習意欲を高めさせる取り組みを行うことで将来への夢に繋げる。 ・ 担任・副担任制度を導入することで学生個人に合わせた対応を行い、また早期に保護者様との連携を図り、中途退学者の更なる減少を図る。 ・ 夏までに全員内定を取るという目標は達成できているが、その後の入社までの就職に対する意欲の継続ができていないため。キャリア教育の授業を増やすなどの意識強化を行っていく。 			

(5) 学生支援

	評価項目	評価	前年
1	学生の心身面での健康管理体制が整っているか	4	4
2	学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じているか	4	5
3	学生のサークル活動やボランティア活動などの自主活動を支援しているか	3	4
4	災害など非常時の危機管理体制が整っているか	4	3
5	奨学金等の経済的支援があるか	5	5
6	学費減免、学費分納制度があるか	5	5
7	学生寮を保有しているか	5	5
8	卒業生への再教育、または就職支援体制はあるか	4	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境は整備されているか	4	4

<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) サークル活動の運営方法・活動目的を明確にし、実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生生活の幅を広げる観点からも、サークル活動などを積極的に取り入れたい。具体的方法を教員内で検討中。 ・ 学生支援方法の理解を深める為、パンフレット・募集要項を全職員に配布し職員会議などで周知を図る。

(6) 教育環境

	評価項目	評価	前年
1	教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されているか	3	4
2	学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられているか	3	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4	4

<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 機器・備品の整備の徹底と迅速な補充。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本校の強みである実際のエステティックサロンで使用されている機器の充実。月に2回の機器・備品の点検をし、整備・補充など迅速に対応する。 ・ 昼休憩を取る環境としてテーブルクロスを活用を徹底する。 ・ 災害時の対応については、避難経路の見直し非常時の備蓄品の整備を行うなど、具体的な改善を行い、全教員で周知・管理をしていく。

(7) 学生の受入募集

	評価項目	評価	前年
1	学生募集計画があるか。また成果は十分か	4	3
2	学校案内等には育成人材像が明示されているか	4	5
3	学校案内等には目指す資格・検定試験等が明示されているか	5	5
4	学校案内等には学費・教材費が明示されているか	5	5

5	入学（予定）者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われているか	5	5
<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 社会人に向けた募集の強化と社会人クラスの開講。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 定員充足に向け、効果的な学生募集を行う必要がある。特に社会人に向けた募集を強化する。 ・ カリキュラム、目指す資格等においても応募者ニーズの取り入れを検討する。 ・ 学生の募集計画についても職員全体の周知が不十分の為、パンフレット・募集要項を配布し周知を図る。 			

(8) 財務

	評価項目	評価	前年
1	予算計画、年間事業計画を策定し、適正な予算の執行・進捗管理を行っているか	4	4
2	財務について会計監査が適正に行われているか	4	4
3	財務情報公開の体制整備はできているか	4	4
<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 個人のコスト意識を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 財務、特に経費の執行については、計画～事後報告について責任者へ報告し、承認を得ることとする。経費申請日を決めることにより経費の申請から受け取りまでの流れが全体の周知につながっている。 ・ 個人のコスト意識を高め、引き続き経費の削減を図る。 			

(9) 法令等の遵守

	評価項目	評価	前年
1	法令や専修学校設置基準を遵守しているか	4	4
2	学生指導において、学生に対して人権への配慮がされているか	4	4
3	学生、非常勤講師や教職員の個人情報の保護について、考慮しているか	4	4

4	自己点検・自己評価を定期的実施し、問題点の改善につとめているか	4	4
5	自己評価結果を外部に対して公表しているか	4	4
<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 全教職員が法令等を意識した行動をとる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 自己評価を今後も継続的に行うことにより、課題の早期発見と改善への取り組みを図る。 			

(10) 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価	前年
1	学校の実習施設を活用するなど高等学校の職業教育の実施に協力・支援しているか	4	4
2	環境問題など重要な社会問題の解決に貢献するための活動を行っているか	3	3
3	受け入れ、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	4	4
4	学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	4
<p>課題及び今後の改善策</p> <p>(課題) 全教職員・学生全体での環境問題への取り組み。</p> <ul style="list-style-type: none"> 留学生受入支援の受講した講習を活かし、受け入れ体制を整える。 留学生の入学規定を全教員に徹底周知する。 ごみを少なくするための分別などが不十分であるため、講師・学生共に環境問題に関する認識を持たせ取り組んでいく。 			